

【富士 24 時間を 8 位完走、3 戦連続入賞】

ドライバー4人で繋いだバトン、ノートラブルで掴んだ完走

■ Introduction

2026年6月5～7日、富士スピードウェイにて「ENEOS スーパー耐久シリーズ 2026 Empowered by BRIDGESTONE 第3戦『NAPAC 富士 24 時間レース』」が開催された。今大会は本邦最長となる24時間耐久レースで、11のクラスに62台、ST-Zクラスには最多の11台がエントリーした。

今回Dドライバーに起用した Joshua Michael Berry は、2022年に黒澤がS耐ST-XクラスにGrid Motorsport AMG GT3で参戦した際のチーム代表/Aドライバーを務めた Martin Berry の息子で、昨年はF4東南アジアシリーズ、今季はポルシェ・カレラカップ中東、同アジアシリーズに参戦中の期待の若手ドライバーだ。

■ Qualifying

公式予選は薄曇りの5日午後に行われた。AドライバーとBドライバー、それぞれのベストタイム合算で決勝のスタート順位が決まる。まずAドライバー予選ではYAMATATSUが1分48秒973をマークし、ST-Zクラス8番手につけた。続くBドライバー予選では黒澤が1分48秒178でクラス11番手。2人のタイム合算は3分37秒151となり、総合17位クラス8位となった。

続いて行われたCドライバー予選ではCOLD MAXが1分50秒882でクラス10位、Dドライバー予選ではJoshuaが1分48秒504でクラストップと、両名とも問題なく予選基準タイムをクリアした。

Dドライバー予選後に行われたフリー走行はE/Fドライバーの走行のみが認められているなかでコースインしてしまったため、走行枠外でのコースインで、77号車は1グループの最後尾である34番手からのスタートすることになった。

■ The Race

今回は24時間レースで、Aドライバーの最低乗車時間は15%の3時間36分、ひとりの連続運転時間は3時間、またドライバーひとりの最大運転時間は12時間と定められている。薄曇りで気温22°C、路面温度35°Cというコンディションの14時59分にグリーンランプが点灯し24時間レースがスタートした。

まずはレース経験の豊富な黒澤がスタートを担当しST-2、3クラスの車両を抜き去りST-

Zクラスのグループまで順位を上げていった。黒澤は最初のピットイン時で交代せず2ステイント連続のドライブを担当し、91周を走りCOLD MAXへ交代。まだ明るい時間帯に36周の走行を終え、YAMATATSUへバトンタッチ。あたりが暗くなり花火が打ち上がるなか、77号車は順調に周回を重ねた。

夜間の時間帯は、黒澤とJoshuaがそれぞれ2ステイントを担当。6時間が経過した21時の段階では、77号車は総合17位クラス10位を走行していた。夜間是他車両との接触があったほか、定められたメンテナンスタイムをクリアしながらの走行となった。今回のレースは大きなアクシデントも起きず、セーフティカー(SC)ランも導入されない淡々とした展開が続き、レースの半分を終えた夜中3時の時点においても総合17位クラス10位と順位には変動がなかった。

午前4時過ぎから徐々に明るくなり、COLD MAXとYAMATATSUが2回目のステイントを担当し、その後は黒澤にドライバー交代。残り6時間となった午前9時の時点で総合16位クラス9位に順位を上げた。

このあたりから霧雨が確認されていたが、午前10時ごろから弱い雨は降ったり止んだりとなり不安定な路面に。黒澤は51周で自身最後のステイントを終え、YAMATATSUが3度目のコースイン。このステイントで3時間36分の最低乗車時間クリアを目指す。

わずかに濡れた路面を相手にYAMATATSUは安定して周回を重ね、アンカーは、Joshuaが担当。雨は残り30分で本降りとなったが、荒れた路面を慎重にドライブし合計725周を走破し、総合16位、クラス8位で無事チェッカー。今回も入賞してポイントを加算した。

■ Team Voice : 黒澤 治樹

「チームとして24時間レースは初めてでした。僕はル・マン24時間も経験したことはありますが、24時間レースとはこういうものだというのをチーム全体で学び、最後まで戦えたということはすごく良かったと思います。長いレースの為、小さなミスはありましたが、大きなトラブルはありませんでした。ただ他車両との接触でアライメントが狂ってしまい車両本来の走りができなかったのは残念でした。今回は老体に鞭打って8時間半走りました。僕以外の3人は24時間レースが初めてで、みんな楽しんでくれたのは良かったと思います。後半戦は1回どこかで表彰台に乗りたいと思いますので、また頑張ります」



■Next

チームは、夏場の菅生大会とオートポリス大会をスキップ。次の参戦予定は、10月24～25日に岡山国際サーキットにて開催される第6戦の3時間レースとなる。インターバル期間にしっかり充電し、楽しみながらポイントを重ねられるようなレース展開を狙っていく。